

青函自然体験活動交流事業2017

活動報告書



特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク

青函自然体験活動交流事業2017

1 目的

少子高齢化による地域活力の低下が危惧されております。また一方では、北海道新幹線開業による道南と青森との新たな文化経済交流が期待されております。

本事業は、自然体験活動を行う青森と函館両地域の活動団体との交流を通じて、青函圏の自然体験活動交流を定着させ、環境と観光を両立させた自然体験型観光の普及による交流人口の増加を目指し、青函圏地域活性化に結び付けようとするものです。

2 内 容

函館市において、「青函アート交流展in函館」を開催し、青森市においても、「青函自然体験活動交流展in青森」（ものづくり体験を共催）」を開催した他、青森市において「青函交流講演会2017」を開催しました。

(1)「青函アート交流展in函館」

日 時：平成29年10月20日(金)～22日(日)

場 所：函館市金森赤レンガ倉庫Bayギャラリー

内 容：自然体験活動写真展と青函アート交流展を開催しました。

(2)「青函自然体験活動交流展in青森」

日 時：平成29年11月3日(金)～5日(日)

場 所：青森県観光物産館アスパム2階エネルギー館あしたをおもう森

内 容：自然体験活動写真展とものづくり体験を行いました。

(3)自然体験活動青函交流講演会

開催日：平成29年11月24日(金)13:30～16:30

場 所：青森市男女共同参画プラザ5階AV多機能ホール

講 師：野宮正宣（あおもりクアガイド協会会長）

テーマ：森林体験活動と地域づくり

内 容：里山を活かした青函交流の可能性についても提案して頂きました。

青函アート交流展in函館

1 自然体験活動写真展

昨年度開催した「自然体験活動交流」に加え、今年度は北海道北斗市在住の画家、波多仲芳晴氏と青森市在住の彫刻家、竹村松博の「青函アート交流展」を開催しました。絵画と彫刻が合わせて20点と自然体験や巨木写真が18点の合計38点が会場に並び、道南地域のアート関係者や観光客が熱心に観覧しておりました。また地元紙の函館新聞から取材を受け、話題となりました。

平成29年度青森市民活動活性化事業

in函館
青函アート交流展

2017 10/20(金)~22(日)
【時間】10:00~17:00(22日の最終日は15:00まで)

函館市金森赤レンガ倉庫
ベイギャラリー

自然体験写真展

青函アート交流展

【波多仲芳晴氏 プロフィール】
1983年 北海道北斗市生まれ。青森大学芸術学部美術学科卒業。現在は青森市在住。自然体験活動写真展「自然体験活動写真展」を開催中。代表作「自然体験活動写真展」。

【竹村松博氏 プロフィール】
1983年 青森県青森市生まれ。青森大学芸術学部美術学科卒業。現在は青森市在住。代表作「自然体験活動写真展」。

主催 特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク

函館新聞 2017年10月21日付

青函の作家 アートで交流

波多仲さん 幻想画や木彫りなど
竹村さん2人展

函館の画家波多仲芳晴さんと青森の彫刻家竹村松博さんの2人展「青函アート交流展」が、青森市市民活動活性化事業としてNPO法人おどろ木ネットワーク（青森）が主催した。

会場には、波多仲さんの幻想画12点や、乙女などをモチーフとした竹村さんの木彫り10点が並んでいる。2拠点で多くのアーティスト人は「津軽海峡を隔てた2が連携するきっかけになれば」と話している。

同ネットの澤田新平事務局長は「展示をきっかけに青函交流の輪を広げていきたい」と呼び掛ける。午前10時~午後5時(最終日は午後3時)。(半澤孝平)

函館新聞 2017年10月21日付



2 青函アート交流展



青函交流展in青森

1 自然体験活動写真展

今年8月11日(山の日)に浅虫森林公園で開催した子どもたちの自然体験活動の様子を紹介した写真展示会を開催しました。

青森市浅虫地区での自然体験活動の魅力とその取組を市民に知ってもらおうと、青森県観光物産館アスパム2階エネルギー館「あしたをおもう森」で毎年開催しております。今年度から活動名を、「青い森の巨木写真展」から「親子で体験里山へGO!!」に改め、親子で「自然体験活動」と「ものづくり体験」を楽しむという新たな体験プログラムです。会場には参加した親子や家族が訪れており、笑顔が溢れておりました。

同時開催した、「木のペンダントづくり」や「バードカービング」、「布絵」、「おどろ木」等の「ものづくり体験コーナー」も大いに賑わいました。



2 ものづくり体験コーナー



自然体験活動青函交流講演会

青森市在住のあおりクア(健康)ガイド協会会長の野宮正宣氏を講師に迎え、「森林体験活動と地域づくり」と題し、青森市の男女共同参画プラザAV多機能ホールを会場として講演会を開催しました。

講演会では、レイチェルカーソンの「知ることは感じることの半分も重要ではない」という言葉を引用し、体験教育の大切さについてお話して頂きました。また、森林や温泉等の自然を利用して治療・養生を行うドイツ式健康ウォーキングについても紹介し、私たちの身近に浅虫という素晴らしい適地があることに気づいたようでした。さらに、温泉や森林、海等、青森の豊かな自然を生かした地域づくりや、里山を活かした地域間交流の可能性についても提案して頂きました。(入場者50名)

平成29年度青森市市民活動活性化事業
青函自然体験交流事業2017

入場無料

森林体験活動と地域づくり

講演会

森林体験を通して、「子どもの環境教育」や「心身の健康」について紹介し、里山を活かした地域活性化や青函交流についても提案します。

11月24日
午後1時30分 開演

講師 あおりクアガイド協会
会長 **野宮 正宣 氏**

会場 青森市新町1丁目3番7号
旧アウガ5階AV多機能ホール

受付 午後1時00分～

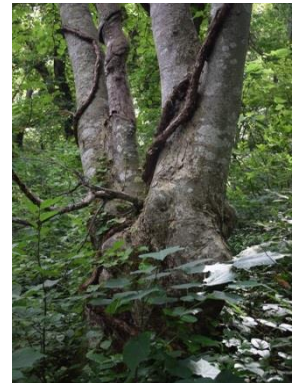
主催 特定非営利活動法人おどろ本ネットワーク



終りに

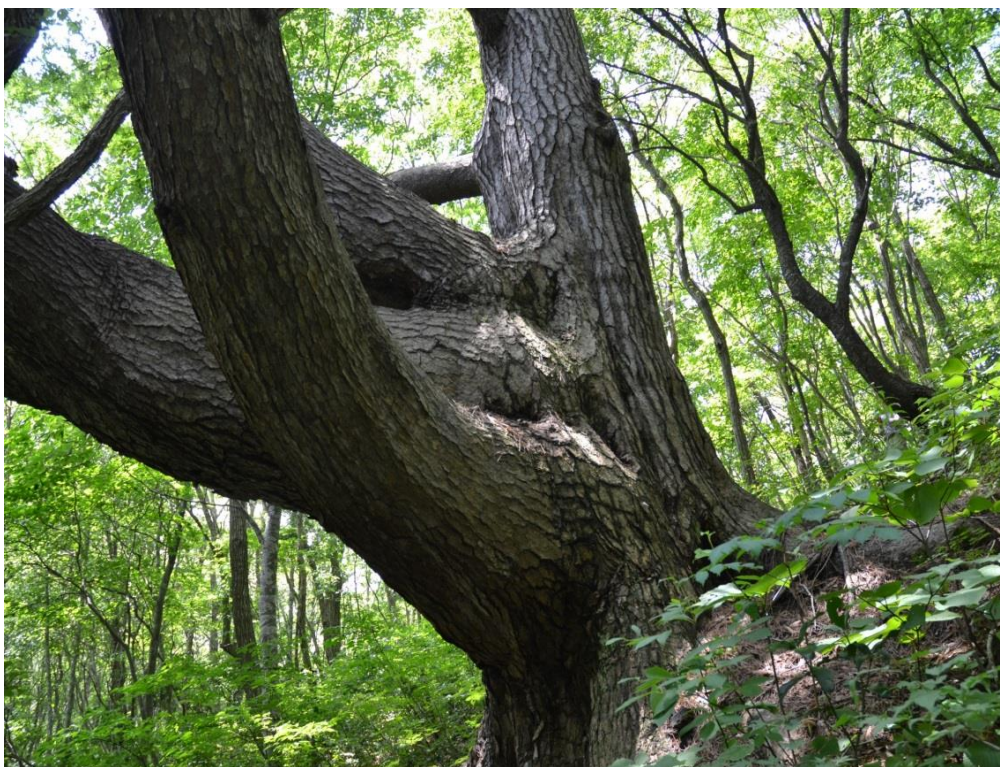
NPO法人おどろ木ネットワークでは、「ものづくり交流事業」や「体験事業」の活動を行っております。青森市浅虫で開催している自然体験活動は3年目を終え、地元のイベントとして定着しつつあることを実感しております。今年度から活動名を、「青い森の巨木写真展」から「親子で体験里山へGO!!」に改め、「ものづくり体験」を加えた新たな可能性へチャレンジしているところです。

青森市浅虫地区は、陸奥湾と森林公園の間に位置し風光明媚な歴史ある温泉地であり、私たちは地域活性化に取り組む地域の人たちと力を合わせて温泉不況や人口減少に負けないまちづくり活動を行っていきたいと考えております。



親子で体験
里山へGO!!





馬場山のアカマツ巨木

〒038-0003

青森県青森市大字石江字江渡106番地227

特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク

Tel 017-781-4612 Fax 017-781-4612

URL <http://www.odorokikobo.com/>

E-mail odoroki7@bc4.so-net.ne.jp

